

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年1月18日

1. 職名・氏名 教授 田中裕美子

2. 学位 学位 博士、専門分野 政策科学、授与機関 同志社大学、授与年 2019年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 所得とニーズの保障（2単位）2年、 社会政策特論（2単位）大学院修士課程1年
② 内容・ねらい 所得とニーズの保障（「雇用形態の違い」が社会保険に与える影響を学ぶ。失業・両立支援・高齢者の就業・若年者など、多様な視点から「セーフティーネット」の課題について理解する。） 社会政策特論（社会政策をめぐるさまざまな課題について探求する。）
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 「所得とニーズの保障」では、社会保障制度について、雇用の視点からの理解が深まるように、導入では労働経済の知識を丁寧に解説した。さらに、社会保険制度と働き方の多様化の関連が明らかになるような説明を心掛けた。また、貧困をめぐる問題については映像資料を利用しながら、現実を理解するための手掛かりとなるように工夫した。Google Classroom を利用して資料を配布するとともに、リアクションペーパーを通じて授業内容の確認と補足をおこない、双方向で受講生の理解を深める努力をした。貧困問題に関する映像資料を用いた授業回では、アクティブ・ラーニングの取り組みとして、受講生同士による、グループディスカッションを行った。 「社会政策特論」では、受講生が1名であったため演習形式で実施した。歴史的な観点から社会政策を分析しているテキストに加えて、現状分析に必要な知識を得るために並行して厚生労働白書を取りあげた。受講生の報告をもとに、働くことを中心とした日本の雇用システムと社会政策の関連について、補足説明を行いながら議論した。
(2)その他の教育活動
内容 非常勤講師 同志社大学 社会学部：社会政策1（2単位 2年）、社会政策2（2単位 2年）、 下関市立大学 経済学部：社会政策Ⅱ（2単位 2年）、専門演習Ⅰ（4単位 3年）、 専門演習Ⅱ（4単位 4年）、 下関市立大学 大学院 経済学研究科：労働経済研究Ⅱ（修士課程1年）

#### 4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【 本】
② 学術論文（査読あり）	【 本】
③ その他論文（査読なし）	【 本】
④ 学会発表等	【 件】
⑤ その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
社会政策学会 春季大会企画委員会委員 社会政策学会 第144回大会（名古屋大学 オンライン）自由論題 社会保障 F 座長 （2022年5月15日）	

## 5. 地域・社会貢献活動

### 【審議委員】

#### ① -1

厚生労働省 山口地方最低賃金審議会委員 (R1.4~R4.9)

山口地方最低賃金審議会 山口県鉄鋼業、非金属製錬・精製業、非鉄金属・同合金圧延業、非鉄金属素形材製造業 最低賃金専門部会委員 (R1.4~R4.9)

山口地方最低賃金審議会 山口県輸送用機械器具製造業 最低賃金専門部会委員 (R1.4~R4.9)

#### ① -2

山口県都市計画審議会委員 (H30.4~R4.9)

山口県環境審議会委員 (H30.4~R4.9)

山口県環境審議会企画部会委員 (H30~R4.9)

山口県廃棄物 3R 補助金等審査会委員 (H30~R4.9)

山口県リサイクル製品等認定審査会委員 (H30~R4.9)

#### ① -3

下関市福祉有償運送運営協議会 委員 (H19.1~R4.9)

下関市医療対策協議会委員 (R2.4~R4.9)

#### ⑥ 【高大連携】

高大連携講座：下関市立大学（山口県立下関中等教育学校 2 年生の探求課題「長時間労働をなくすには」を指導した：2022 年 8 月 18 日）

## 6. 大学運営への参画

### (1)補職

### (2)委員会・チーム活動

### (3)学内行事への参加

### (4)その他、自発的活動など